

## 平成26年度 研究推進計画

廿日市市立玖島小学校

### 1 学校研究主題

考える力と表現する力の育成

～国語科「書くこと」における単元を貫く言語活動の明確化を通して～

### 2 研究主題設定の理由

本校は、平成22年度より、児童の考える力と表現力の育成をめざして国語科の「読むこと」の指導の在り方について研究を進めてきた。平成23年度は、主体的な読みを促すための効果的な「思考の場（しかけ）」や「言語活動」について探ってきた。その結果、教材文の全体の構成や要旨を捉えて読んだり考えたりする力が育ってきた。また、好きな本を見つけたり、自ら様々な文章を読み考えようとしたりする意欲も育ってきた。しかし、様々なテキストから必要な情報を選びとることや効果的に自分の考えを伝えることを苦手とする実態があった。

学習指導要領においては、当単元でつきたい「書く能力」を、45分の授業に閉じたものではなく、子どもの実生活における作文や、各教科等での調べ学習等にも「生きてはたらくより主体的な能力」として捉え、各学年の内容を「指導事項」と「言語活動例」で示している。そして、ねらいを実現するために、単元の目標にふさわしい言語活動を適切に選択し、単元（学習の過程）を貫いて位置づけることを通して、指導事項を指導することが求められている。具体的には、「書くこと」の指導においては、単元を貫く言語活動を授業構想に明確に位置づけ、子どもが書きたいという思いや伝えたい目的に応じて表現したりしていくといった、「書くこと」の指導過程の改革が求められている。

そこで、国語科研究の5年次となる本年度は、「書くこと」における「単元を貫く言語活動」の位置づけと指導事項を明確にし、「目的に応じて書くこと」をさせることにより、児童一人一人の考える力や表現する力を高めたいと考え、研究主題を設定した。

### 3 研究仮説

国語科の「書くこと」の指導過程において、単元を貫く言語活動を明確に位置づけ、目的を持った「書く活動」をさせていけば、「目的に応じて書く力」が高まり、論理的に考え、表現する力が育つであろう。

### 4 研究の視点

- (1) 単元を貫く言語活動と「書くこと」の指導事項を明らかにした単元構想づくり
- (2) 目的に応じた「書く活動」の指導の在り方
- (3) 他教科との関連

### 5 めざす児童の姿

- 相手や目的に応じて表現しようとする子ども
- 粘り強く考え、根拠に基づいて自分の意見が表現できる子
- 進んで表現しお互いの「よさ」を見つけあう子ども

6 研究内容

- (1) 指導事項と言語活動例
- (2) 単元構想づくり (教科書研究)
- (3) 発問と評価言 (佐伯中学校区共通)
- (4) 身に付けた力を生かす場の設定

7 研究の方法

- (1) 理論研修
- (2) 授業研究
- (3) 模擬授業及び演習
- (4) 先進校視察や先行研究の研究

8 検証の方法と指標

- (1) 「書くこと」の学習に対する児童の意識調査 80%
- (2) 基礎学力定着状況調査 通過率60%以上の児童90%
- (3) 廿日市市市学力調査 市平均以上
- (4) 授業における児童の発表の様子 (教師の観察) 80%
- (5) 児童のノート (自慢のノート例の交流) でよさを見つけることのできる児童 100%
- (6) 書くことが苦手な児童の変容 ※抽出児を選び変容を交流する

9 研究計画

※研究主題 副主題の用語の確認

4		研究主題設定 理論研修	
5	15(木)	事前研修 (単元構想図作成のための演習等)	
6		授業研究 6年	講師招聘 ※研究だより
7		研究の中間まとめ レポート交流	
8		夏季研修 (単元構想づくり 他教科との関連) 指導案検討 1年, 4年, 5年	講師招聘
9		授業研究 1年	
10		事前研修 (模擬授業)	
10		授業研究 5年	講師招聘 ※研究だより
11		校内研修 (公開研リーフレット)	模擬授業
12		指導案検討 研究の中間まとめ	
1	22(木)	公開研究会 4年	講師招聘 ※研究だより
2		研究のまとめ	

※ 上記計画以外に、日常的に相互に授業を見合う機会を設定し、授業力の向上を図る。

# 研究構想図

**学校教育目標**  
可能性に挑戦し 感動する 自立する玖島っ子を育成する

**学校研究主題**  
考える力と表現する力の育成  
～国語科「書くこと」にける単元を貫く言語活動の明確化を通して～

《めざす子ども像》  
○粘り強く考え、根拠に基づいて自分の意見が表現できる子  
○進んで表現しお互いの「よさ」を見つけあう子ども  
○目的に応じて本を選ぶことができる子

《研究仮説》 国語科の「書くこと」の指導過程において、単元を貫く言語活動を明確に位置づけ、目的を持った「書く活動」をさせていけば、「目的に応じて書く力」が高まり、論理的に考え、表現する力が育つであろう。

